

議案第 1 号 平成 29 年度事業報告について

平成 29 年度主な活動について

活性化拠点づくりグループ

ご当地検定事業…飯能の魅力を見直し、郷土愛の醸成を目的に開催

●ご当地検定事業

【事前講習会】検定受験予定者向きに勉強会を開催する

7月30日（日） 9：00～

8月19日（土）16：30～

【検定本番】8月27日（日） *受検者数：35名（1級取得者数：12名）

【一級獲得者 表彰式】

日時 11月4日（土）

場所 公益社団法人 飯能青年会議所 飯能まつり特設ステージ

内容 ご当地検定 一級獲得者への表彰を行う

観客 200人

【飯能ご当地検定に付随する勉強会】

検定受験者より、飯能ご当地検定で出題された問題についてより見識を深めたいといった要望があったため、特定のジャンルに絞った勉強会を2回実施

第一回 2017年 5月

郷土史研究家 山崎修二 氏をお招きしての 清流巡り

第二回 2018年 3月

日本家紋協会会長 高橋 等 氏をお招きしての講習会『飯能ゆかりの家紋』

私の飯能学…まちなかスタジオ飯能アッさらしー学園の空き時間を利用して飯能に関する講座を開催する。

●私の飯能学

商業活性化グループが運営する、まちなかスタジオ「飯能アッさらしー学園」の空き時間を利用し、講義を開催

2018年 2月24日時点 通算40回の実施

【H29年度開催回数】12回

【H29年度参加人数】194名

まちなか魅力アップグループ

●第2回 飯能路地まつり

小学校低学年、及び幼児を対象に、路地を使ったイベントを企画し、路地を知り、親しんでもらい、豊かな感性を育んでもらうこと。また、路地をもつ住民と外部の人、飯能まちなかを元気にする会の内部・外部のつながりなどを作る場を創出することを目的に開催。

飯能まちなかを元気にする会メンバーにて実行委員会を立ち上げ、各関係団体の多大なるご支援をもって、開催に至った。しかし生憎の雨となり、矢島工務店様駐車場のみの開催となったため、路上お絵描きや一坪キャビン等の企画は中止となり、規模は縮小した。第1回目ほどの盛況感はなかったが、リピーターもあり、両日子どもたちのにぎやかな声が絶えなかった。

【内容】

会場：仲町エリア中心（本部：矢島工務店様駐車場）

日時：10/14（土）13時～16時*終了後竹灯り、10/15（日）10時～15時

内容：絹織物で栄えた町を巡る古民家ツアー、竹灯りストリート、昔遊び（フラフープ・剣玉・お手玉・折り紙・かるたなど）、将棋、3D廻り将棋、ミニ四駆大会、屋外幼児の絵画展、路地裏マーケット



●一丁目日だまり公園整備

3月までに計7回作業を行った。草刈り、剪定、木のベンチ作り、杭の交換、ウッドチップ補充、ゴミ拾いなどを行った。

●路地愛称看板作成・設置

4/16、6/4、7/2、9/3、10/8、11/18と6回、一丁目ひだまり公園整備作業に続いて活動。

南裏通り、材木通り(割岩通り)を中心に、愛称看板を20枚ほど設置できた。両通りに挟まれた横丁、小路についても、設置は進んだ。

すでに設置した看板で、汚れたり、倒れたりしているものがあるので、通りがかりで気づいたものを補修・汚れ取り等をした。

作成・設置を進めると同時にメンテナンスも行っていく。

市民のくらしグループ

市民のくらしグループは基本事業として、まちなか交流事業と子育て支援事業を展開。

●まちなか交流事業

【まちなか畑イベント】

6月のイベント企画準備のため「まちなかの畑」を利用し、昨年度に種まきを実施した麦とピーナッツの生育作業を行った。エコツアーの「体験農作業」との合同企画として、6月4日に交流事業「麦とピーナッツの収穫」を開催し、十数人名の参加を頂いた。

【まちなか畑の返還】

平成29年度を以て、「まちなかの畑」は、使用貸借契約期間が満了となったため、飯能まちなかを元気にする会から飯能市へ土地を返還した。

●子育て支援事業

子育て支援事業として、飯能まつりの際に「赤ちゃん駅」と称した事業を行っていたが、今年度からは飯能市役所の子育て支援課に事業を移譲した。そのため、平成29年度の事業としては、引き継ぎ作業を中心に実施した。

商業活性化グループ

空き店舗活用事業を実施

●まちなかスタジオ飯能アッさらしー学園

中心市街地における賑わいの創出、商業活性化、コミュニティの醸成、健康づくり等を目的としたまちなかスタジオの運営。会員証を掲示により様々な特典が受けられる仕組みづくりを継続した。

*場所：大川学園

*参加者：H29年度 前期（4月～9月）：2823名

後期（10月～12月）：1436名

計4259名